



江田島市

議会だより

〈元衆議院議長 故灘尾弘吉 書〉

2007年8月1日 第11号



たなばたに お願い

交通ルールを守ってね!

〈平成19年7月5日 江田島幼稚園児〉

主な内容

平成19年6月定例会	2~3
補正予算・賛否表・委員会報告	4~5
一般質問 (12人)	6~14
傍聴感想文・要望活動	14~15
市民の声	16~17
まちかどフォトスケッチ・編集後記	18

平成19年6月 定例会



▲ 議会風景

平成19年第2回定例会は、6月21日に招集され、27日までの7日間の会期で開かれました。初日の21日には、市長の市政報告及び議長報告があった後、2日間にわたって12人の議員が一般質問を行い、市政全般について市当局の考えをいただきました。6月22日には、繰越明許費に関する報告5件、専決処分報告と承認2件、建物取得（旧県大柿合同庁舎）、市隣保館設置及び管理条例の一部改正と補正予算案など9議案について審議を行い、いずれも原案どおり可決しました。次に、議員発議による意見書案1件を可決し散会しました。

可決した主な議案

旧県大柿合同庁舎を購入

平成18年度繰越予算で決定していた旧県合同庁舎を2億円で購入することを可決。

◎購入財源は国からの
合併交付金。

◎取得目的は、福祉事務所・教育委員会等市分庁舎として使用。

※建物は、県が平成9年建築。鉄筋・鉄骨コンクリート5階建。床面積4、129㎡。全用地面積4、262㎡

質疑

Q 建物の評価額と購入契約には土地も入るのか。

A 建築総額は13億8千万円、広島県には特別な配慮で合意している。契約には土地も入っているが公有地であるため価額の記入は無い。

Q 新庁舎建設検討もされているが、この建

物の購入に当たって旧町役場の庁舎を含め有効利用して、新庁舎の建設はしないことを要望する。

A 新庁舎建築については今後の議論に待つ。

採決 賛成20人
反対3人
欠席2人



▲ 市福祉事務所・教育委員会が利用している旧県大柿合同庁舎

国保税課税上限額を

56万円に改定

国民健康保険税

条例の一部を改正

地方税法の改正に伴い、
専決処分で平成19年4月
1日から施行された改正
条例（上限額53万円を56

万円に）を承認し可決。

採決 賛成23人

欠席2人



▶ 小用南児童公園完成

児童公園設置及び管理条例、隣
保館設置及び管理条例の一部を
改正



◀ 三高会館完成間近

小用南児童公園の完成
による供用開始と、三高
会館の改築に伴う使用料
の設定を可決。

採決

賛成23人
欠席2人

平成19年度補正予算可決

(一般会計)

4月の県議会議員選挙が無かったことによる選挙費の減額と福祉事業補助金、公園・小中学校等遊具点検委託料等の増額などで40万円の増額補正予算を可決。

採決 賛成21人
反対1人
欠席3人

(企業会計)

公共下水道事業(能美地区)及び水道事業会計の企業債を、低金利債に借り換えるための補正予算を可決。

採決 賛成22人
欠席3人

会計名		補正増減(△)額	補正後の額	補正の主な理由	
一般会計(第1号)		40万円	157億4,340万円	広島県議会議員選挙が無投票となったことに伴う選挙費等の減額。障害者福祉事業費補助金、治山事業費測量・登記委託料、公園・小中学校等遊具点検委託料の増額。	
企業会計	公共下水道事業(能美地区)(第1号)	資本的収入	730万円	2億7,118万7千円	過去に借り入れた高利率の企業債を低金利へ借換する。
		資本的支出	730万円	3億4,520万7千円	
	水道事業(第1号)	資本的収入	3,590万円	2億4,497万1千円	過去に借り入れた高利率の企業債を低金利へ借換する。
		資本的支出	3,590万円	4億7,621万4千円	

6月定例会 賛否表(主なもの)

議員名	番号		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25
	結果	表決数	越野哲也	野崎剛睦	前田鎮夫	胡子雅信	林久光	住岡淳一	山根啓志	水口直樹	胡子勝弘	登地靖徳	浜西金満	山本一也	石下洋子	吉岡憲伸	新家勇二	鎌田哲彰	山木信勝	下河内泰	太刀掛隼則	扇谷照義	小西俊明	沖也寸志	伊藤一志	西中克弘	上田正
専決処分の報告と承認について(江田島市税条例の一部を改正する条例)	可決	22:1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
専決処分の報告と承認について(江田島市国民健康保険税条例の一部を改正する条例)	可決	23:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
江田島市児童公園設置及び管理条例の一部を改正する条例案	可決	23:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
江田島市隣保館設置及び管理条例の一部を改正する条例案	可決	23:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
新たに生じた土地の確認及び字の区域の変更について	可決	23:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
住居表示を実施すべき市街地の区域及び当該区域内の住居表示の実施について	可決	23:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
建物の取得について	可決	20:3	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
広島県と江田島市との間における特別児童扶養手当認定等事務の事務委託に関する協議について	可決	22:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成19年度一般会計補正予算(第1号)	可決	21:1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成19年度公共下水道事業(能美地区)会計補正予算(第1号)	可決	22:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成19年度水道事業会計補正予算(第1号)	可決	22:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議(地方の道路整備の促進に関する意見書)	可決	21:1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○は賛成 ●は反対 公は公務 一は欠席

委員会報告

企業会計特別委員会

平成18年度企業会計特別委員会のまとめ及び今後の方針について4月13日開催しました。

交通船事業

平成19年度交通船事業会計予算で1億5千万円の一般会計からの繰入れを行っているが、その内5千万円は高速艇エンジンを取り換え費用で、1億円については油の高騰による赤字補填となっている。このようなことが今後も続くのではないよう、対応を強く望む。

今後の対策としては、高速艇を3隻体制で運航し、フェリーは朝・夜便のみ運航、今後3～5年をめどにフェリーの廃止、第3セクター方式、他社との共同運航、船員の人員費の抑制等について早

急に検討し方向性を示されたい。

国民宿舎事業

シーサイド温泉や海上ロッジの利用客増を図るため、他の観光機関との連携、アイデア商品の開発、施設の建替えを視野に入れた施設の充実に、今後の経営方針、利用方法等について早急に検討し方向性を示されたい。

水道事業

市民が安全でより安定した飲料水の供給と、漏水対策については万全を期されたい。また、老朽管の更新事業についても年次計画を樹立すると共に、昨年の断

水事故を反省し、これらの方針等について調査研究を望む。

まとめ

市民の利便性、経営の安定化策を検討し、中長期的な公営企業としての計画を樹立し、経営基盤の強化を望むと共に、情報提供については早急に市民に伝達することを望む。



▲ 高田港に入港中のレインボーのうみ

文教厚生常任委員会

6月5日(火)



▲ 大君小学校の複式授業風景

大君小学校視察

浜松校長から概要説明を受けた後、複式学級の授業を参観しました。

1・2年生は単式学級で3・4年生は講師と教師の授業で5・6年生が教師一人で二つの学年を教える複式学級です。教師・児童ともに熱心な授業風景でした。

委員からは複式学級に対する取り組み、教師の姿勢、児童の集中力等さまざまな質問が出ました。浜松校長、井上教頭をは

じめ先生方の児童に対する思いを聞きました。ご苦労様です。

西能美学校給食調理場視察

杉田場長、栄養士から施設の概要と運営内容等説明を聞きました。

委員から、食材の仕入れについては地産地消の率先を。また異物混入等事故のないように努め、児童・生徒が安心・安全で美味しい給食づくりをお願いしました。

教育委員会年間行事予定と主要事業進捗状況について

三島次長、平根教育総務課長、御堂岡学校教育課長、横手生涯学習課長から資料により説明を受けた。

江田島中学校新築事業については、教育委員会がプランを作成し都市整備課が担当。施工監理は連携しますとあった。

委員からは、市内の校舎で新築にもかかわらず手すりの変色等不備があったので今後注意を。切串中との統合を視野に直線100mトラックが取れるグラウンドを。など活発な質問がありました。合わせて、万治教育長の抱負をお聞かせ下さいとの要望があり、万治教育長は、「夢のある学校造り。元気の源は汗をかくこと、教育は人を育てる。子ども・大人が楽しめる生涯学習の基盤づくり。総合型スポーツクラブの発足を目指します。」と抱負を述べられました。

市政を問う

議員12名



市政に信念がないのでは

山木 信勝 議員

答 柔軟に対応しています

山木 政策が短期間に次から次へと変更することは、市政に信念がなく、信用を失っています。このような市政を行うべきでないと考えるが。

市長 諸情勢により若干の調整をした施策を講じた方が市政のためにより場合には、既存の対応策に縛られるのではなく、柔軟に対応します。

山木 副市長就任の抱負と理念は。

正井副市長 職員的能力開発と人材育成が重要であり、その体制づくりと具体的な取り組みをします。基本理念は、職員との信頼関係がすべてです。

山西副市長 市長を先頭に行財政改革を全庁的に取り組み、持続可能で健全な財政基盤の確立を図ります。

山木 飛渡瀬・高田・柿浦小学校は平成17年12月から5年以内に統合の検討をすることになってい

教育長 早い時期に第二次検討委員会で教育力を高め、より理想的な学校を組み立てていくため、諸条件を総合的に検討します。

山木 飛渡瀬地区の社会資本整備が遅れている。

市長 市の長期計画において、「センターゾーン」として位置づけており、地区の幹線道路や幹線排水路の整備など生活環境改善に努めます。

山木 浄化センターは昭和50年に建設され、施設躯体等の老朽化が著しく、全面更新、建て替える時期が迫っているが。

市長 公共下水道整備の

進捗状況を踏まえ建設用地規模、処理方式等を県と協議を進めながら平成24年度を目標に更新を目指します。

山木 どうするサービスセンターへの苦情・不満

市長 サービスセンター

の開設時間延長、取り扱い業務の拡充、施設の実と云う課題は残されているものの、市民サービスの提供の場としては最適な場所であると思っています。



▲ 昭和50年に建設された浄化センター

6月定例会

一般質問



江田島市にもっと観光客を

答 自然の良さを強調する

浜西 金満 議員

浜西 江田島市は、広島市や呉市からも近い。近年、呉市の大和ミュージアムの開館に伴って、大型観光バスが本市の海上自衛隊第一術科学校（旧海軍兵学校）を訪れているが、宿泊までに至っていない。実質的に江田島市の発展につながるような観光事業を考えてはどうか。

市長 呉市と広島市との連携を強くし、本市の自然の良さを強調して観光に力を入れていきます。

浜西 宿泊施設が少ないので体験学習に力を入れ江田島市に滞在する時間を長くすることを考えたらどうか。

産業部長 観光施設間の結びつきを図るイベントで、観光客を増やしていきます。

浜西 『サンビーチ沖美』の夕日とか陀峯山、砲台山森林公園の自然の良さをアピールしていったらどうか。

産業部長 観光客は、非日常体験から感動を覚えるので滞在時間を延長することに努力します。

浜西 全国的にも珍しい造船所の進水式ツアーを計画したらどうか。

産業部長 企業の理解があれば前向きに考えます。

浜西 道路等の受け入れ体制を整備して観光客を増やす施策を要望する。



▲ 海上自衛隊第1術科学校（教育参考館）

定住促進策は

越野 哲也 議員

答 官民一体で取り組む



員から実践すべきで現在52名の市外居住者から始めてはどうか。

市長 居住の自由があるので強制はできないが、機会があるごとに市民とともに歩んでほしいとお願いします。

総務部長 市外通勤の理由としては、家族の仕事や子どもの教育などそれぞれ事情があるが、市にUターンしていくよう働きかけます。

男女共同参画

越野 市は社会への模範を示す立場にあるが、女性管理職数は県内で最低となっている。男女の隔たりをなくし、能力のある人材を積極的に登用すべきであると思うが。

市長 今年度、1名登用し女性管理職は現在2名

越野 定住促進はまず職

選択と集中の施策を

鎌田 哲彰 議員

答 4事業を最優先課題に

企画課を設置し、経営基盤の安定を図り、交通体系整備を効率的・効果的に進めます。

教育再生会議の第二次報告について

鎌田 政府の教育再生会議の第二次報告が提出されたが、この中で土曜日授業の再開の実施は、各自治体の教育委員会や学校の裁量に委ねるとしているが、江田島市教育委員会の考えはどうか。

教育長 今後、中央教育審議会において国の方針が決定されるので、その動向を見ながら検討する。現在市内の小中学校で、授業の質を高めるための教職員の研修を積極的に進めている。江田島市教育委員会としては、児童・

生徒に確かな学力を身につけさせ、信頼される学

校づくりのために継続・充実させていく方針です。



▲ 整備が進む下水道工事

鎌田 江田島市総合計画の中で、早期実現可能な最優先課題を、市民に提示すべきではないか。また下水道整備の状況と交通船事業の抜本的な対策は。

市長 3月定例会の市政方針でご説明いたしましたように、①学校教育施設整備②新交通体系の検討と整備③市民の安全安心についての生活環境の集中整備④人口減少を食い止めるための定住交流対策の実施など4事業を最重点課題と考えています。

下水道整備の普及率は47・25%で今後約134億円を見込み、完成は平成30年代半ばになりそう。交通船事業は経営的に非常に厳しい状況にあるが、今年度企業局に経営

です。管理職だけでなく、女性職員採用の拡大や審議会等への女性の任用にも積極的に取り組み、男

女の区別なく前向きな職員を育てることが我々の責務です。



▲ 自然体験モニターツアー（水産物加工体験）



主要プロジェクトへの取り組みは

山本 一也 議員

答 選択と集中により着実に推進

路の再編」については最重点施策。実現に向け協議・調整を行う。職員においては、自己啓発に努め、課内研修についても積極的に実施するよう指導します。

一次産業振興に力を

山本 活力ある元気なまちづくりのためには一次産業・地場産業の振興はかせない。十分な取り組みを期待する。

市長 重要性を十分に認識し振興に全力をあげ、若者定住のため後継者育成に知恵を絞ります。

山本 住んで良かったと言われるまちづくりのために取り組みが進んでいるプロジェクト実施は、全ての施策が互いに連携するものであり、全職員が意識統一を図り施策に邁進することが必要である。実施に向けた課題の整理と政策へのリンクするものへの取り組み、その際、市民生活をささえる交通体系整備の状況、また、施策推進のための職員研修のあり方についてどのようにお考えか。

市長 財政状況が厳しい中、選択と集中により重点化を図って事業を推進していく。連携は幹部会議・政策会議を活用し、今後は、若手職員に対しても議論の場を検討する。交通体系整備の中でも「バス路線の一元化」と「航



▲ 市内を走行中の能美バス



行革は市民へもつと説明を

前田 鎮夫 議員

答 改革の成果は急がず

前田 行財政改革で学校統廃合、出張所の廃止、支援事業の縮小、公共施設の荒廃、補助金カットなど市民生活に多大な影響がある。改革にはもつと説得と時間をかけて地域との繋がりを強くして市民に理解してもらおうことが必要と考えます。行財政改革の今日までの成果・効果についてお伺いします。

公共施設の管理委託は慎重に

大きな夢を

前田 公共施設の管理運営について、指定管理者制度の導入も、改革プランどおり実施するのか、特にライフライン関連事業に、万一事故にあった時には市民生活に重大な影響が懸念されます。民間管理移行には危惧を感じます。安全管理が保証担保できる企業に限定されるべきだと考えるがお尋ねします。

前田 市の夢・構想については既に色々計画もありますが、少々過大でも市民の心に響くような、たとえば以前から語られていた高須く天応間の海底トンネル構想とか、江田島湾総合開発構想など

のような夢は持てませんか。

市長 現実味の薄いものに大風呂敷をかぶせるようなことは市長としては言えないが、これからの江田島市の進む方向も考えて構想計画を持っていきたい。

市長 行財政改革は、地方分権の方針と、市民の行政ニーズに應えるため、職員共々改革実施計画によって実施してきた。今後も自然との共生「海生交流都市」を目指して、将来の江田島市のため市民、議会の理解を得ながら進めていく。成果は急がず改革の痛み喜びを市民と分かち合いたい。

総務部長 公共施設の管理については、現在でも指定管理者制度によって地域で活動している団体もあるが、民間委託については充分考慮してやっていきたい。



▲ 小用港から本市高須と呉市天応方面を望む

財政指数に不安はないか

太刀掛 隼則 議員

答 危機的状況にある



います。

太刀掛 財政力指数0・34%は県平均0・56%より0・22ポイント低く依存度は高く、交付税・国県の補助金に頼らなければならぬ状況にあり将来、不安はないか。

太刀掛 経常収支比率は年々増加し98・1%と県平均92・7%より5.4ポイント高く、既に警戒ラインを突破しております。改善策をお聴きします。

市長 財政的余裕はなく、硬直化しており財政は極めて危機的状況にあります。義務的経費である人件費・公債費及び扶助費の抑制と事務・事業や施設維持費など更なる行政コストの削減に努めてま

市長 平成17年度0・34ポイントから18年度0・36ポイントになり0・02ポイント上昇しました。財政力指数1.0以上の団体は交付税が交付されませんが、本市の場合は財政力指数1.0未満であり交付されませんので、現行制度において不安はもっておりません。

太刀掛 実質公債費比率15・2%は県平均17・9%を下回っていますが、17年度決算では25億6千



年金の記録不備の対応は

野崎 剛睦 議員

答 誠意を持って対応している

野崎 国民年金の元データを廃棄している市町村が全国で191あると言われるが、本市では保管していますか。

除庁に移管され、保管義務はなくなりましたが本市は保管しています。将来も市民第一と考え保管します。なお、社会保険庁の照合には積極的に協

力します。
野崎 年金の問い合わせに対し特別に窓口の開設は。
市民生活部長 特別に窓口は開設していないが、本日まで本庁及び支所に70件余りの問い合わせがありました。

野崎 年金の記録洩れが生じた原因とそれに対する市民の注意事項を市の広報紙で知らせたらどうか。

市民生活部長 社会保険庁はいろいろな方法でPRに努めているので、今は市では考えていません。市民からの問い合わせに対して、市は、誠意をもって対応していきます。

住居表示の整備を

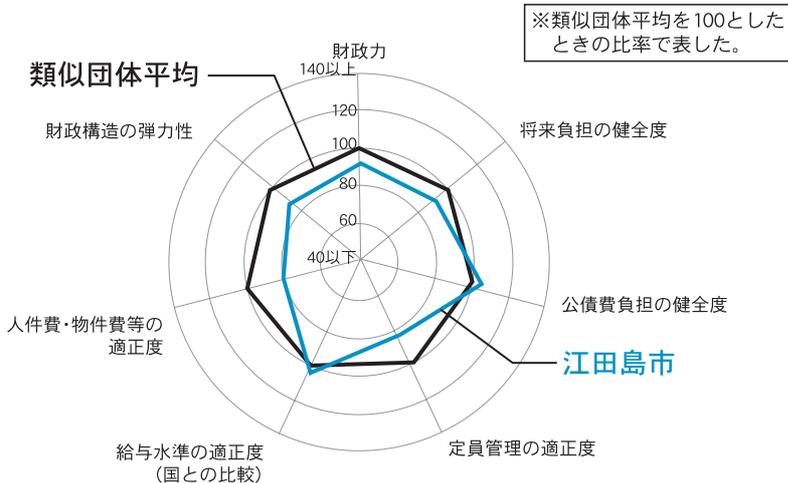
野崎 能美・沖美・大柿

町の住居表示は、土地の地番が住所番地になっているため、不便で困っていますので、江田島町のように住居表示の整備をしていただきたい。

市長 以前、江田島町は1万9、200番までの通し番号であったため、郵便物等の誤配送や住所捜しで困難をきたしていたので整備をしました。四町均衡ということで整備するに越したことはありませんが、これには相当の経費や期間等のエネルギーを要します。現段階では、住所を捜すのに混乱を来たしていないので、今後の市街地の動向をみて判断します。

野崎 将来は整備されることを期待しています。

江田島市財政比較分析表
(平成17年度普通会計決算)



3百万円支出しています。なお、借金は220億9千6百万円あります。事業をするためには、お金が必要です。自己財源が乏しいので借金をすることになります。このことが返済金比率を高めることとなります。このような状況で推移して将来の財政運営に問題はないか。

市長 一般会計の借金残高は、18年度231億8千万円から19年度227億7千万円になる見込みです。公債費比率は算出において、分母である普通交付税の増減により左右されます。公債費比率の推移を注意深く見守りながら事業展開を図ります。

切串西沖駐車場の増設を

山根 啓志 議員

答 県に強く要望



山根 高田港の乗船者数は、1日730人（高田港のみ）乗船台数は182台。切串西沖棧橋は、1日1300人（切串港発のみ）で172台。高田港の倍は必要。確保する事は可能か。

山根 昨年10月から切串―宇品航路が2社運行体制となり、利用者から好評をえている。江南・飛渡瀬など、大柿地区からも利用されており、その結果慢性的な駐車場不足におちいつている。早急な対策を。

市長 昨年駐車スペースを増設したが、現状の利用状況を見ると、さらなる駐車スペースの確保が必要と思う。管理者である県に強く要望しており、利便性・安全性の確保に努力する。

土木建築部長 今年度、県が設計等やると聞いている。その時、要望しませぬ。

山根 県は、どの様に考えているか。

土木建築部長 国道からフェリー乗船までの道路の位置を変え、駐車スペースを確保します。

山根 もう少し増やす方法を、提案できないか。

土木建築部長 現在の駐車場の活用を考え、結果を見て考えます。



保育園を民営化に

沖 也寸志 議員

答 早急に検討する

沖 少子高齢化の対策は国民全体の課題であります。本市では出生率が平成17年には4・07%、平成18年では3・84%と依然として低い数値であります。現在では核家族が一般的になり三世大家族はあまり見かけなくなりました。昔のように親から子供へと、子育ての知識と経験が受け継がれなくなっているのです。このような社会情勢の中、行政が地域単位で子どもたちを振り分けるのではなく、反対に保育園が選ばれる時代でもあります。それには人材と財源の有効活用が必要ではないでしょうか。そこで私が思いますのは保育園の民営化であります。今後の国・県の動向を踏まえ次の世代を担い、明日の社会

基盤を支える子どもたちの成長が、ふるさと江田島の将来であると思えます。市長のご所見をお伺いいたします。

市長 民営化につきましては、国が公立保育園の運営費を一般財源化した平成16年度を契機に、全国の自治体で広く議論が高まりました。県内におきましても、この取り組みが進められております。本市では現在、保育園運営検討委員会答申に基づきまして、公立保育園だけでは提供できるサービスには、おのずと限界があります。多様な保育要望の実現と、効率的な保育園運営のために民営化については、今後、積極的に検討します。



▲ 元気に遊ぶ大古保育園児

▶ 駐車場が不足している切串西沖棧橋



切串・宮ノ原く中郷間の
道路改修を

山根 切串港からバス等で来た人は、道の狭さカーブの多さに不安、部分的な改善が必要では。

土木建築部長 幅員を広げる部分は、県に改善依頼します。

山根 はみ出し禁止区間で大型バス等のはみ出しが有る部分の改善を。また、青少年交流の家に行

く橋の拡幅は。
土木建築部長 カーブの改善と合わせ県に要望します。

山根 中郷と御殿山トンネルの底を下げる改善策は。

土木建築部長 今年度から2カ年で調査。維持修繕で対応出来れば、可能性が高い。

山根 出来る所から早急に行つて欲しい。



人口減少に対する方向性は

住岡 淳一 議員

答 総合計画の見直しを検討

住岡 新聞各社の紙上に人口減少の記事が掲載されている。人口減少は江田島の活性化を損なうと思うが。直近の出生率・死亡率・転出超過率はどうか？また、将来の人口推計はどのようになっていますか。

市長 出生率はわずかに減少、死亡率はわずかに増加、転出超過率が転入超過率を上回っておりま

す。市の総合計画以上に人口が減少しています。生活の利便性や快適性を高め、将来夢がもてるよう知恵をしばって恵まれた自然・人・都市との近接性を最大限高めながら総合計画に基づく具体的な施策を行ってまいります。

住岡 人口減少による本市の総合計画の見直しは、考えていますか？合併ありきでできた政策・施策・公約を考え直す時だと思えますが。また、人口増加のため広島市・呉市等との近接性を利用した考え、計画はありますか。

市長 今の実施計画を全力を挙げて遂行していますが、次のステップに向け市民の声を聞きながら場合によっては抜本的な改革や変更・見直しを含めて行財政改革を行ってまいります。また、人口増加のため①津久茂架橋②切串―似島―宇品の橋③高須―狩留賀の海底トンネルの構想の要望活動等、働きかけを行います。

住岡 人口減少に歯止めをかけるには、定住促進や空屋対策が必要だと思

います。その受け入れ態勢と情報発信はどのように考えていますか？

市長 定住を促進するため、引きつづき総合的な施策の検討を図っていきます。

産業部長 「えたじまで暮らし隊」「田舎暮らしを楽しもう会」など活動しているところですが。

年齢別人口推計

	平成17年		平成22年		平成27年		平成32年	
	人	%	人	%	人	%	人	%
0～15才	3,158	10.5	2,378	8.69	1,944	7.87	1,540	7.02
16～64才	17,277	57.7	15,336	56.11	12,882	52.18	11,033	50.33
65才以上	9,504	31.8	9,650	35.2	9,865	39.95	9,351	42.65
総人口	29,939	100.0	27,364	100.0	24,691	100.0	21,924	100.0

住宅の耐震化促進を

石下 洋子 議員

答 啓発・情報提供に

努める



石下 阪神大震災での犠牲者の80%が建物の倒壊によるものであったことから、国は耐震改修促進法を制定。しかし、この10年、耐震化が進まなかったことから、国は、'06年、法を改定し、耐震化率90%にするよううながした。

江田島市の耐震化の状況はどうか。

市長 昨年耐震化計画を策定し、市所有の建

物については、すでに48棟診断を完了。診断の結果をふまえ、計画的に改修していくことにしています。

民間の建物については、近隣の市の実態を研究し、国の制度を活用した診断・改修支援制度を検討していく。さらに、耐震診断および改修の啓発・情報提供の充実に努めていきます。

市の展望をわかりやすく語ってほしい

石下 市が発足して、学校統合をはじめさまざまなサービスが下げられたことから市民は、市の将来に不安をおぼえている。

住民の不安を解消するため、財政が厳しくなった理由、今後の財政見通しを中心に市政の展望を語っていただきたい。

市長 年少人口の減少により、保育園の小規模化が進行、そうしたなか魅力ある学校・保育園づくりのために統合を進めている。又、旧町単位の制度を統一するためサービスが低下したところもあるが、一方では福祉事務所の設立、旅券の発行などサービスが向上した面



▲ 市内の住宅密集地

もあります。

市の財政状況は、12年度からはじまった国の財政改革による地方交付税や補助金の廃止・削減により、いぜん厳しい状況にある。今後も厳しさは増すものと推測している。今後は、市民の協力を得ながら、財政健全化を進め、人材育成のための教育振興、交通体系の構築、市民の安全・安心の確保、定住促進対策などを進めていきたいと考えています。

傍聴感想文

傍聴の動機

住民税が上がりました。私たちの貴重な税金なので、市の使い道等、関心が深まり傍聴

に来ました。都合で中途退席しましたが、今後又来たいと思います。(能美町在住)



▲ 6月定例会 第1日目

議会広報 特別委員会から

今定例会の傍聴者は2日間で31人おられました。税改正(住民税)により市政に関心が深まったとの理由で傍聴においてに

なられた市民の気持ちに答えるべく、我々議員は本市発展のため議会活動に邁進してまいります。ありがとうございます。

重要施策の要望活動（国等）

- 1 日時 5月27日～29日
- 2 要望活動参加者 曾根市長、市議会議員等合計28名
- 3 要望活動の内容
 - (1) 一般国道487号道路改良の事業促進。
 - (2) 地方港湾整備事業の促進。
 - (3) 観光行政の推進に向けた支援。
 - (4) 学校統合による義務教育施設整備の充実及び廃校に伴う跡地活用等。
- 4 日程
 - (1) 5月28日
 - 寺田稔、平口洋衆 議院議員、中川秀直自由民主党幹事長並びに溝手頭正国家公安委員長に要望。
 - 総務省、国土交通省、文部科学省の審議官、局長等に要望。
 - 溝手頭正、寺田稔、平口洋議員と意見交換。
 - (2) 5月29日
 - 防衛省訪問
 - 首相官邸訪問
 - 国土交通省訪問



▲ 地元選出の国会議員に要望活動

曾根市長、市議会議員等合計28名で要望活動を行った。寺田稔、平口洋衆議院議員、中川秀直自由民主党幹事長並びに溝手頭正国家公安委員長への要望や意見交換会。分刻みで重要な仕事をされている人達、日本の国を動かしている方々への要望や意見交換会を実施。

曾根市長、市議会議員の将来へ向かっての熱い願いは、大きな成果を上げ、実り多いものとなった。

議会の動き（平成19年4月～6月）

6月			5月			4月			月							
28日	22日	21日	14日	12日	5日	27日～29日	18日	13日	26日	18日	17日・19日	4日・13日	3日・12日	日	会議名	主な審議内容
産業建設常任委員会 第7回議会全員協議会	議会運営委員会 第2回市議会定例会2日目	第2回市議会定例会初日	議会広報特別委員会	議会運営委員会	文教厚生常任委員会	国等への重要事業要望活動	企業会計特別委員会	第6回議会全員協議会	庁舎建設検討等特別委員会 議会運営委員会	第5回議会全員協議会	議会運営委員会	企業会計特別委員会	議会広報特別委員会	議会広報特別委員会	議会だより第10号編集	議会だより第10号編集
交通船事業会計 横撫土地分譲・いきいき公園づくり報奨金	委員会運営	一般質問9人	議会だより第11号編集	第2回市議会定例会（議案、議事日程）	教育施設視察・教育委員会主要事業等	国土交通省・文部科学省・防衛省ほか	平成19年度事業	議会運営	今後の進め方	重要事業要望活動	重要事業要望活動	平成18年度委員会のまとめ・今後の方針	議会だより第10号編集	議会だより第10号編集		

市政に思う

議会広報特別委員会は、4町が合併して2年9ヶ月経過した今、「市民の声」としてシリーズ物の特集を企画・掲載することにしました。4町の各種団体にお願
いし、市政等に対しての思いを書いていただきました。
ご協力ありがとうございました。
次回もご期待ください。

議会広報特別委員会



能美町商工会
会長 中島 勝

元気を出そう 厳しい今こそ

早いもので江能4町は合併して2年半を経過しましたが、正直言って良くなかった実感は一つもありません。しかし合併したから悪くなったとは思いません。

国の三位一体改革の下で厳しい行政改革が断行されたからにはほかありません。商工業者はこれから進行する少子高齢化の厳しい現実をどう乗り切

待できません。こうした、市を取りまく社会状況下のもとで、昨年10月、市自治会等連絡協議会が立ち上げられました。

現状では旧町時代の考え方が先行する面が残っており、温度差があることとは否定できません。が、しかし持ちよった意見をディスカッションする過程でお互いの意思の疎通が図られ、やがては市民一人ひとりが同じ目的に向い協力できるものと確信しています。過去にあった時代のように住民の要望に応じて次々と公共サービスを展開していくことなど、およそ不可能

なが切実な問題です。「街の賑わいと活力は商人が作る」との意気込みで、今こそ元気を出して江田島市を飛躍させないといけません。

それには、115万都市広島市との結びつきを強める事が何より重要だと思えます。海上交通・市内バスの抜本改革が求められます。広島都市圏に至近距離の好立地を活かし交

も連携して取り組みます。市議の皆様、どうぞ知恵と力を貸してください。



江田島町区長会
会長 田頭 俊弘

合併後の まちづくりを思う

平成の大合併によって誕生した江田島市、早いもので今年11月で3年になります。これから市が歩みゆく長期総合計画も策定され、一步一步その成果を実績として確認しながら前に進んでいるように思えます。又、これとは裏腹に少子高齢化社会が予想を上回るスピードでやって来ているようです。育児支援・児童保育・義務教育・保健医療・高齢者介護といった対人サービスの需要は一段と高まり、要求されてきます。これらのサービスは、地域住民による協力地域密着型のサービスの展開でなければ成果は期

になつてきています。我が江田島市も公共サービスの範囲を厳しく取捨選択し、家庭内の自助・地域社会の共助で解決できることは、家庭や地域社会の手に戻さなければならなくなつてきています。地域社会（自治会）の共助をもつても解決できないことを市役所に持ち込み、市役所による公助に期待するといった「補完性の原理」を徹底していく必要があると思います。何でもかんでも市役所に頼み込むことには、もうやめなければなりません。まずは自分たちの力をもつて解決する方法を見いだし、作り上げ

ることができる。これからの自治会に要求されることと思えます。今までのように、市役所から助成金の交付を受け運営されてきた自治会でなく、自治町内会の会費をもつて運営する自治会。

財政的に完全自立した時に初めて市と対等な「市民と官」が一つになって行動できる民・官の協働関係を結ぶことが出来上がり、住民一人一人の力によって、本当の意味での新しい町づくりに参加できるものと信じてやみません。

ることも、これからの自治会に要求されることと思えます。今までのように、市役所から助成金の交付を受け運営されてきた自治会でなく、自治町内会の会費をもつて運営する自治会。

財政的に完全自立した時に初めて市と対等な「市民と官」が一つになって行動できる民・官の協働関係を結ぶことが出来上がり、住民一人一人の力によって、本当の意味での新しい町づくりに参加できるものと信じてやみません。

市民の声



沖美町老人クラブ連合会
会長 川野 保

自治会の発足から 今日まで

我が沖美町は昨年から自治会が誕生し、新しく協力委員から班長に、名称が変更になりました。仕事の内容は従来どおり変わりません。主な行事は、公衆衛生推進、防火訓練、(旧)小・中の校庭清掃、敬老会、各種企画会議等です。各会長をはじめ地域のことは、地域で協議して進めていくという観点から、掲示板を各所に設置し、ゴミ出しの分類等を

掲示しています。清掃道具置場は小屋を建て、市民の協力を得ております。

昨年度から沖中学校が廃校。本年度沖小学校が廃校になり、鹿川小学校に統合となりました。子ども達は毎日元気よく能美バスで通学しています。自治会では、昨年より、沖小学校が廃校になったことから、各種団体の方々の協力で校庭の清掃をしております。沖中学校の

校庭に雑草が生え、5月の連休頃沖美支所長に連絡し自治会長と連携し除草し今日に至っています。合併し地域を良くするには我々市民ができることは自分達で、できないことは行政に依頼し地域社会のために少しでも貢献し江田島市を盛り上げましょう。

沖地区は、本年度中町八幡神社祭礼当番になっています。各地区の宮総代の方、又、各自治会で



話し合い協力して祭礼を成功させようと思います。



大柿町柿浦小学校PTA
会長 重長 英司

あいさつ日本一を 目指して

柿浦小学校では「あいさつ日本一」を目指して頑張っています。それとあいさつはコミュニケーションの第一歩だからです。気持ちの良いあいさつができればそこから始まる会話は順調に進んでいくことでしょう。自分の主張もでき、相手の言葉もしっかり聞くことができ、相手を受け入れ自分を理解してもらえれば円満な人間関係を気づいていけると思いますが、円満な人間関係ができ

れば、「いじめ問題」の軽減につながっていくと思えます。また、これを校外に広げていけば、地域の人たちが子どもたちのことを知り、登下校時の見守りにつながっていくと思っております。

子どもたちの中には、恥ずかしがり屋さんとか引っ込み思案の子もいますが、みんな頑張ってあいさつをしています。子どもたちの可愛いあいさつが大人の心を和ませ、ひいては自分たちの安全を守ってくれるもの

と信じています。そして、もう一つ地域の伝統行事には積極的に参加をしようと言うことです。

大柿では、七月の第三日曜日が一斉清掃ですが子どもたちにも参加を呼びかけるつもりです。地域の大人たちと一緒に汗をかいて作業をしてもらいたいと思っています。自分たちの住んでいる所をみんなできれいにすることによって、公衆衛生について学ぶことができます。楽しい行事としては、



盆踊り・祭り・島ひき鬼等いろいろありますが、積極的に地域の行事に参加してもらい、自分の生まれ育った地域を理解し、さまざまな体験を通して郷土を愛する心を育てたいと思います。



7月6日 社会を明るくする運動 (農村環境改善センター)



5月3日 えたじま農業感謝祭(江田島町切串)



7月10日 イノシシ対策 放牧牛 ももとさくら(沖美町是長)

まちがど フォト スケッチ



5月19日 ひまわりの種まき(飛渡瀬小学校児童)



7月15日 能美町オープン剣道大会(スポーツセンター)



6月17日 誠心園慰問(江田島町宮ノ原)

編集後記

光陰矢の如しで平成19年もすでに半分が過ぎました。6月は梅雨に入ったというのにほとんど雨が降らない日々が続きました。異常気象の一年とまらないよう祈るばかりです。

さて、6月定例会も12名の議員による一般質問があり市政について活発な議論がなされました。市民の皆様も是非傍聴に来てください。活気ある議会を体験しませんか。皆さん、議会だよりが前号から進化したところがあるのに気付きましたでしょうか。主な議案についての各議員の賛否が分かるようになりました。今後、分かりやすい議会だよりに向けて広報委員一同がんばります。(胡子雅信)

議会広報特別委員会

- 委員長 住岡淳一
- 副委員長 登地靖徳
- 委員 山根啓志
- 委員 胡子雅信
- 委員 前田鎮夫
- 委員 野崎剛睦

次の定例会は9月です。お気軽に傍聴にお越しください。

※問い合わせ先 江田島市議会事務局
 〒737-2193
 広島県江田島市江田島町中央一丁目1番1号(江田島支所3階)
 TEL (0823) 42-6310 FAX (0823) 42-6315

○発行
江田島市議会

○編集
議会広報
特別委員会